電信寫

秘

貳月貳日 済

昭和7　暗　福州 本省　二月一日後着　亞

芳澤外務大臣　　田村總領事

第四九號

對日宣戰布告說アル折柄支那側ニテハ三十一日邦人居住區域軍隊ノ入替ヲ行ヒ兵員モ増加セル外夜八時ヨリ省政府ニ省、黨、政聯席會議ヲ開キ色メキ立テル模樣アルヨリ各方面ニ電話問合中、林知淵ヨリ右會議ハ上海方面ノ占領ト洛陽遷都ニテ人心不安ノ折　主トシテ反動派ニ備フル爲ノ治安維持ヲ議シタルモノニシテ今ノ處上海事件ハ地方事件トシ當地ハ專ラ事端發生ノ防止ニ力ムルノ趣旨ニ依リ萬一宣戰ノ如キコトアリトモ自分等ノ在任スル限リ責任ヲ以テ保護スヘキ旨電話シ來リ一日朝來館右ノ趣旨ヲ繰返セリ一方英、米、佛領事ハ本官ヨリ右聞込ノ結果一日午前省政府ヲ往訪シ事態ヲ確カムルト共ニ萬一宣戰布告ノ如キコトアリトスルモ非戰闘員ニ對シ危害ヲ加フルカ如キコトナキ様充分保護方警告ノ覺書ヲ交付セリ

支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

支。廈門。汕頭、廣東ヘ轉電セリ

要再回

0049

S 11108 1293

S 11108 1294

REEL No. A-0069

0390

アジア歴史資料センター

寫送先

電信課長　大臣　次官　亞細亞　歐米　通商　條約　情報　文化　人事　文書　會計

(分類 A.1.1.0.25-2)

昭和7　二三六五　暗

福州　二月一日後發
本省　二月一日後着

芳澤外務大臣
田村總領事　亞

第五〇號

往電第四九號ニ關シ

當地ハ馬尾トノ聯絡不便ト海軍力ニ依ル保護モ困難鮮カラサルニ鑑ミ萬一ノ際ノ混雜ヲ避クル爲一日夕刻ヨリ碇泊中ノ上海行長沙丸ニ婦女子ノ避難收容ヲ開始シ明日上海方面ノ形勢見極メタル上ニテ其儘基隆?ニ引返サシムル豫定ナリ

外務省

寫送先

電信課長　大臣　次官　亞細亞　歐米　通商　條約　情報　文化　人事　文書　會計

極秘

(分類 A.1.1.0.25-2.)

昭和7　二五〇四　暗

福州　二月二日後發
本省　二月二日後着

芳澤外務大臣
田村總領事　亞

第五二號（極秘扱）

往電第三〇號ニ關シ

一兩日前來上海方面ノ空氣ノ如ク萬一ニモ突如對日宣戰ヲ見ルカ如キ場合ニハ交通不便ナル當地ニテ警備艦ニ於テ軍事行動ヲ開始スルカ如キコトアラハ在留民ノ引揚ハ一層困難ヲ來スヘク艦長ハ右ニ付相當焦リ氣味ニテ本官ノ居留民會議員等ノ招集ヲ待チ兼ネ單獨招集シテ海軍ノ立場ナルモノヲ說明スル等結局萬一ノ際ハ婦女子ハ手纒ヒトナル惧アリ水戸事件以來神經過敏ノ在留民ニ又モ事件發生ヲ見

外務省

REEL No. A-0069
0391
アジア歴史資料センター

ルカ如キコトナキ様萬全ヲ期スル豫防策トシテ一時長沙丸ニ收容セル婦女子約四百名ヲ其儘本日午後三時基隆ヘ出帆セシメタリ內地人婦女子二百十三名中明日大球丸ニテ引揚クヘキ本官及館員家族ヲ最後ニ殆ト全部又臺灣人婦女子六百十五名中大半引揚クル筈、當地ハ前記特殊ノ交通不便ヲ除キ大体ニ於テ特ニ形勢悪化セル次第ニハアラス臺灣モ近キコトナレハ本月一杯形勢觀望、上海事件對日宣戰ノ見透シ付カハ弗々歸來スルニ至ルヘシ

（以下極秘）尚警備艦ニテハ万事海軍本位ニテ居留民保護ヲ理由ニ陸上ノ事ニ付焦リ又ハ主張ヲ固守スル等領事職務執行ト重複シテ困難尠カラス右ハ現下ノ如キ際特ニ南支方面ニ於テハ馬公トノ關係上甚シキヤニ感セラル御參考迄申添フ

外務省

公使、厦門、汕頭、廣東ニ轉電セリ

公使ヨリ上海ニ轉報アリタシ

外務省

REEL No. A-0069
0392
アジア歴史資料センター

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

（分類 A.1.1.0.25-2）

昭和7　二五五七　暗　福州　三日前發
本省　二月三日後着

芳澤外務大臣　　田村總領事　　亞

第五三號

往電第五二號ノ通リ婦女子引揚ハ海口ニアラサル當地特殊ノ事情ニ依リ「ブレコウショナリ、メジュア」トシテ行ハシメタル（カ?）支那側ニテハ時局柄人心動搖事態惡化ノ虞アリ不安心ナレハ如何ナル警備方法ヲモ講スヘク且中央要人等ヨリノ私電ニ依ルモ上海事件擴大防止ノ希望ニテ萬宣戰ノ如キコトニハ至ラサルヘク萬一然ル場合ニモ國際法規ニ從ヒ居留民ノ安全引揚方責任ヲ以テ保障スヘシトテ殆ト懇請的ニ申出テ午后又方聲濤、林知淵連立チテ同様繰返シタル

外務省

ニ付本官ハ省政府當局ノ意ノアル所ハ充分了解シ當地ノミノ事情トシテハ何等不安ヲ感シテノゴトニアラサルモ警備艦側ノ報告ニ依レハ上海ノ事態俄カニ好轉ノ模様ナク洛陽遷都ニ伴ヒ對日宣戰説等ハ水戸事件以來神經過敏トナリ居ル在留民ヲ刺戟シ又艦長等ニ對スル暴行事件當時戒嚴司令公安局長カ全力ヲ盡スモ約六時間ニ亘リテ門前ノ群衆ヲ追拂ヒ得ス爲ニ本官等カ六時間ノ長キニ亘リ歸館シ得サリシ最新ノ記憶モアリ萬一暴動等ノ際支那側軍警カ敵國人ヲ保護スル爲ニ自國群集ヲ相手トスヘシトモ考ヘラレス結局今暫ク事態ノ推移見定メノ付ク迄一衣帯水ノ臺灣迄家族ヲ引揚ケ置キ男子ノミ家族ノ心配ナク落着キテ業務ニ當ラシムルコト在留民ノ精神的安定上望マシトノ希望ヲモ容レタル次第ニ付一般民衆側ニ對シテハ我方ニ何

外務省

REEL No. A-0069
0393
アジア歴史資料センター

寫送先

大臣
次官
電信課長
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

(分類A.1.1.0.25-9)

昭和7 二六八五 暗 福州 本省 二月三日前發 二月四日後着 亞

芳澤外務大臣 田村總領事

第五四號

今回當地婦女子一時引揚ニ決シタルハ當地トシテ特ニ形勢悪化セルニハアラサルモ水戸事件以來此ノ種陰謀ニ對スル不安熄マス上海方面ノ占領南京政府ノ對日宣戰説盛ニシテ人心動搖ノ虞ニ乘シ又モヤ一味殘黨ノ危害ノ虞?ナシトセス二日夜八時頃當館署長及書記生宿舍ニ便衣隊襲撃スヘシトノ電話ヲ掛ケタルモノアリ且万一ノ際當地ハ厦門汕頭ト異ナリ引揚困難ヲ豫想シ警備艦ノ意見モアリ旁万全ヲ期スル爲婦女子ノミ一時島内ニ避難セシメ上海方面ノ事態鎮靜ヲ俟チ

外務省

S 11108 1302

等異圖アル次第ニアラサル旨篤ト説明シ双方人心ノ安定策ヲ講セラレタシト申入レタルニ了解セリトテ引取リタルカ市民中ニハ本官モ引揚クヘシトノ噂アリ萬一然ル場合ニハ先般來ノ事件ニテ本官カ折角斡旋事ナキヲ得タルカ後ハ如何ナルヘキヤ等ト相當神經ヲ病ミ居レリトノ情報アリトテ米國領事訪ネ來タリタルニ付事情説明シ置キタリ御參考迄

在支公使、廣東、汕頭、厦門ヘ轉電セリ

在支公使ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

外務省

S 11108 1301

REEL No. A-0069

0394

アジア歴史資料センター

ナルヘク早ク歸來セシメタク永久的引揚ノ趣旨ニアラサルニ付右特ニ御含ミ置キノ上之等一時的避難婦女子ノ滯在方ニ付特ニ御配慮仰キタシ

外務省

写

拓第　　號

宛名　管理局長

昭和七年二月五日午後三時五〇分受　發信局　台北

發信人　台湾總督府警務局長

主任

昭和七年二月五日接受

電報譯文

上海事変ニ伴フ南支那各地在留邦人ノ状況並ニ福州在留邦人ノ避難引揚状況（本件第　報ハ二月　日付貴官宛電報）其後ノ状況左ノ如シ

（一）二月三日午前十時福州ヨリ基隆ニ入港セル長沙丸ニ乗船避難セル者其ノ人員三六四名来台乗陸シタリ

（イ）内地人ハ在台ノ縁故者又ハ當地旅館ニ一時滞在シ本籍地ニ帰還スルモノ大多数ナリ之等ノ者ハ何レモ相當旅費ヲ有シ又之無キ者ハ當地ニ於テ夫々金策ヲ為シ得ル者ニシテ救助ヲ要スルト認メラルヽ者及ヒ無賃乗車券ヲ交付シタルモノナシ

（ロ）本島人ニ於テモ旅券ヲ有スル者多ク全部旅費ノ都合ツカサ

拓務省

REEL No. A-0069

0395

アジア歴史資料センター

(ロ)本邦人ニ対シテモ旅券ヲ有セサル者ニ対シテハ合弁ニ準シ旅券ノ携帯ヲ命シ
ヨリ長キニ亘リタル為ニ右ノ如キ無頼漢来リテ之ヲ強請スルモノアリ
又右ニ関シ青島ニ於テ大々的ニ救済ヲ為シ居ル者ニ対シテ援助
帰還スヘキ大多数ハ一時ニ依リ相当ノ旅費ヲ有シ
(ハ)内地人ハ本日ノ列車ニテ済南在留者ハ当地ニ
者其ノ人員三六四名本日来着セリ
(一)二月三日午前十時
引揚状況(第二信)二日付
上海青島

宛	名	電報 譯 文	發信人

昭和　年　月　日　發
昭和　年　月　日　着

REEL No. A-0069
0396
アジア歴史資料センター

ル者一〇名ニ対シ無賃ノ鉄道乗車券ヲ発行シ尚救助ヲ
求ムル者ノ申出六名アリタルガ之等ニ対シテハ其ノ要否ヲ目下
調査中ナリ

(ハ)避難者ノ内訳及避難先左ノ如シ

内地人　男　三九名
　　　　女　一一九名
本島人　男　八名
　　　　女　一二六名

本籍地ニ引揚ゲル者
　内地人　二三、本島人　一九七
縁故者ヘ身ヲ寄スル者
　内地人　六三、本島人　九
旅館ニ滞在スル者

電報譯文用紙乙
譯文用紙　乙
拓務省

内地人　七二

右ノ外本島人ガ乳母又ハ養女トシテ同伴シタル支那人
(三名アリ理由ヲ調査スルニ事情不得已者ト認メラレ
タルヲ以テ適宜上陸ヲ許シ目下夫々手続中ナリ

(二)広東丸ハ同日午前十時船客四三名ヲ乗船シ基隆ニ
入港セシガ船客中避難者ハ汕頭ヨリ乗船セル本島人男一、
女三ノ四名ノミニシテ何レモ本籍地ヘ引揚ゲ救助ヲ要セス

(三)四日午前十時福州ヨリ基隆ニ入港セル(メイキユウ丸)ニ
乗船避難シタル者総人員一五一名ナリ

(イ)避難者ノ内訳及避難先左ノ如シ

内地人　男　七名
　　　　女　一名
本島人　男　五七名

電報譯文用紙乙
譯文用紙　乙
拓務省

REEL No. A-0069
0397
アジア歴史資料センター

廿七七名
本籍地ヘ引揚ゲル者　一二四名
縁故者ヘ身ヲ寄スル者　一〇名
旅館ニ滞在スル者　一七名
救助ヲ要スル者　ナシ
尚外ニ本島人ノ家族トシテ同伴セル支那人一〇名アリタ
ルガ前記長沙丸ニテ来台セルモノト事情同一ニシ
テ不得已者ト認メ一應上陸ヲ許シ目下夫々手續中ナリ

(ロ)避難民收容方協議
當庁避難者收容方ニ關シテハ督府ニ於テ二日臨時局
長會議ヲ開催シ避難民收容所ニ便宜供與、鐵道
乘車券ノ減免其ノ他救護ニ關スル協議ヲ遂ゲ關係各
州及ビ各庁ニ於テモ極力避難民ノ救助其ノ他ノ便宜

拓務省
情報譯文用紙乙
譯文用紙乙
S 11108 1307 0062

供與方法ヲ構ズルコトニ決シ夫々手配ヲ了セリ

(五)上海。廈門。汕頭。廣東。香港。ノ各地ヨリハ其後
本日正午迄ニ避難引揚其ノ他ニ關シ何等ノ情報ナシ

(六)其ノ他参考事項
四日(タイキユウ丸)ニテ福州田村總領事ノ家族四名
同館員ノ家族五名同警察署員ノ家族二二名避
難来台セリ。

拓務省
情報譯文用紙乙
譯文用紙乙
S 11108 1308 0063
REEL No. A-0069
0398
アジア歴史資料センター

大臣
次官
電信課長

寫送先									
亞細亞	歐米	通商	條約	情報	文化	人事	文書	會計	

昭和7　三〇七〇　暗　福州　本省　二月七日後發　二月七日後着

芳澤外務大臣　　田村總領事

第五五號

本官發支宛電報

第四二號

支那電報局ニテハ上海、福州間陸線破損ノ爲專ラ無線ニ依ル由ノ處先般來上海、南京發當館宛電報七十餘通ハ何レモ四日乃至一週間以上ヲ要シ當分回復ノ見込ナキニ付右ニ依ルコトハ當分見合ハサレ度シ爲念

尚當地臺灣間海底線モ目下不通ニシテ時局ノ際臺灣及內地トノ電報

外務省

聯絡ニ困難ヲ感シ居レリ

上海、南京ヘ轉報アリタシ

大臣、廣東、汕頭、厦門ニ轉電セリ

外務省

REEL No. A-0069
0399
アジア歴史資料センター

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

（分類A.1.1.0.25-2）

上海ニ於ケル日支衝突事件關係一件
在留邦人保護引揚避難及被害関係

昭和7 三一五六 暗 福州 八日前發
本省 二月八日後着 亞

芳澤外務大臣
田村總領事

第五七號

廣東宛貴電第九號ニ關シ

當地ハ目下ノ處表面左迄險悪トハ認メ難キモ南支各地中最モ上海ニ近ク且經濟上緊密ノ關係アルヲ以テ平常反日運動ヲ喜ハサル商人等モ舊年關ニ際シ上海ヘノ土貨賣掛代金回收不能ニ陥リ且ツ滿洲ノ場合ト反シ日常最モ緊密ナル取引關係ヲ有スル隣町ニ於ケル戰爭トシテ寧ロ省內奥地ノ共産土匪ノ襲撃以上ニ關心ヲ有シ省政府所在地トシテ市民一般ニ政治的反映ヲモ受ケ官憲側ニ於テハ相當警戒ニ努メ

居リ且反日會解散「ボスター」撤廢以來外面的ニハ目立タサルモ上海方面支那軍ノ戰勝ヲ報スル新聞號外其他ニ對シ「日本人ヲ皆殺ニセヨ」ト叫ヒ興奮スルモノアリ通リ掛リノ邦人ニ對シ「日本人ノ泣面ヲ見ヨ」等ト悪罵シ小石ヲ投ケ唾ヲ吐キ掛ケ人力車乘車ヲ妨害スル等人心漸次悪化ノ徴ヲ示シ必スシモ樂觀ヲ許サス今ノ處上海ノ事態ニシテ急激ニ悪化セサル限リ此程度ニテ推移スヘキカト觀測サルルモ十一日ヨリ各學校休暇明ケト共ニ相當警戒ヲ要ス内地人婦女子ハ殆ト全部一時台灣ニ避難セルニ付殘餘ノ内地人ハ夜間ハ我海軍警備艦ニ近キ河岸ニアル台灣銀行外一個所ニ集合宿泊シ兵員十五名警戒シ居リ茲兩三日上海方面ヘノ我陸軍派遣ノ影響等ヲ見極メタル上ニテ右集合宿泊ヲ緩和スル豫定ナリ

REEL No. A-0069
0400
アジア歴史資料センター

公使ヨリ上海ニ轉報アリタシ
公使、厦門、汕頭、廣東ニ轉電セリ

外務省

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計
寫送先

(分類A.1.1.0.25-2)

昭和7 三一六〇 暗
福州 二月八日後發
本省 八日後着
亞、情

芳澤外務大臣 田村總領事

第五八號

廣東宛貴電第九號ニ付テハ警備艦トモ打合セ萬遺漏ナキヲ期シ居ル處當地ノ情勢ハ主トシテ上海事態ノ推移ニ依ル次第ニ付在留民ノ去就保護竝ニ萬一ノ際ニ處スルニ付テモ上海ノ事態ノ推移ニ付絶ヘス迅速ナル情報ト時局判斷ニ付テノ指示ヲ受クルコト最モ必要ト存セラレ既ニ公使宛貴電第三七號ノ次第アリ公使ヨリハ現ニ隨時必要ノ指示ヲ受ケ居ル次第ナルモ毎日ノ經過ニ付テハ特ニ上海總領事ヨリ轉電ヲ受クル場合ノ外主トシテ聯合電報「ラジオニユース」海軍接

外務省

REEL No. A-0069
アジア歴史資料センター

受新聞電報等ニ依ルノ外無ク斯クテハ自然正確ヲ期シ難キ惧アリ又
在留民側ニテモ日々ノ推移ニ付新聞電報以外ニ確實ナル公表ヲ翹望
シ居ル次第ナルニ付テハ地方領事トシテハ詳細ナル外交交渉ノ經緯
ヨリモ寧ロ日々ノ事態ノ推移對外對支交渉等ニ付迅速簡單ナル情報
ト之ニ對スル判斷ノ指示ヲ仰キ難局ニ處シテ誤リ無カランヿヲ期シ
度所存ナルニ付テハ素ヨリ御多忙ノ際到底相叶ハサル事カトモ存ス
ルモ公使又ハ上海總領事ヨリ特ニ直接關係アル地方領事ノ爲ニ簡單
ナル「ブルテン」様ノ情報ヲ一日一回位一定時間ニ直接放送セラル
ル事ヲ得ハ眞ニ好都合ナランカト痛切ニ思付ノ儘具申ス

支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ

支ヘ轉電セリ

外務省

寫送先

電信課長　大臣　次官　亞細亞　歐米　通商　條約　情報　文化　人事　文書　會計

(分類 A.1.1.0.25-2)

昭和7　三一七六　暗
臺北　八日後發
本省　二月八日後着
亞

芳澤外務大臣　臺灣總督

第四號

貴電第五號御申入ノ件曩ニ福州廣東兩總領事ヨリノ申入ニ依リ船繰
通關及避難ニ對スル援助方等既ニ手配濟ニ付御了知請フ

上海ニ於ケル日支衝突事件ニ關シ在留邦人引揚計劃及被害関係

外務省

REEL No. A-0069
0402
アジア歴史資料センター

電信寫

祕

昭和7　　略　　　亜二

福州　本省　二月十日後着

芳澤外務大臣　　田村總領事

第六四號

貴電合第四六〇號ニ關シ

當地最近ノ實例ニ徴スルニ斯カル時代錯誤ノ不心得ナル分子ノ存在ハ當ニ在留民ノ間ノミトハ限ラス現ニ當地在留邦人不安ノ最大原因ハ水戸事件ノ如キノ續發スルヤニ在リ既ニ充分御賢察御配慮ノコトトハ拜察スルモ地方特殊ノ事情何等御参考迄

支ヨリ上海へ轉報アリタシ

支。厦門。天津へ轉電セリ

要再回

REEL No. A-0069

0403

アジア歴史資料センター

亜細亜局

陸 同 文

昭和七、二、一〇、

電 報

二、一〇前一〇、一三發
一一、五五著

参謀次長宛 台灣軍参謀長

昭和七年貳月拾貳日

台第六號

南支那情況、

一、福州居留民婦女子引揚後殘留男子二百五十名ハ一ヶ所ニ集團生活シアリ、

我海軍陸戰隊（武装セス）之ヲ警備ス、上海事件後流言蜚語尚盛ニシテ上海ヨリ續々來ル支那避難民ノ言ト相俟ツテ對日惡化ス、

二、汕頭ハ一時平穩ナリシモ五日頃ヨリ反日行動稍盛トナリ増大ノ兆アリ、居留民婦女子引揚殘留男子内地人八十三名ノミ、

三、厦門ハ平穩ナリ、

0073

S 11108 1318

REEL No. A-0069

0404

アジア歴史資料センター

電信寫

19/2 亜 宮

祕

昭和7　八、暗　福州 本省　二月十八日後着　亜

芳澤外務大臣　田村總領事

第六五號

當地各學校ハ十一日ヨリ弗々開校セルモ當局ニ於テ相當警戒シ居ル爲カ今分ノ所別段騷キ立ツル形勢無ク民國日報始メ各支那紙ノ戰勝虛報ニ拘ラス市中一般ニ平穩ニ歸シツツアリ官民共ニ上海ノ轍ヲ踏ム事無キ樣充分警戒シ居ルモノノ如ク省黨部方面ニテ多少强硬論ヲ唱ヘ對日防備ヲ說クモノアルモ省政府ニテハ却テ日本側ノ疑惑ヲ招キ事端發生ノ素因トナルヘシトテ抑ヘ居ル由當方トモ努メテ聯絡ヲ保タントシ邦人居住區域ニ增設セル巡警派出所三個所見番所二十ケ所何レモ實行シ市中ニ反日「ポスター」ハ去ル一月五日取去リタル備トナリ傳單遊行等モ見受ケス反日會モ看板撤去後表面何等活動シ居ル模樣無シ目下救國貯金會（金儲會）ト稱シ第十九路軍ヘノ慰問金募集中ナルモ余リ乘氣セサル趣ナリ

上海ノ形勢ニ依リテハ惡化ノ惧無シトセサルモ現狀一應報告申進ス

公使ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ

公使、厦門、汕頭、廣東ヘ轉電セリ

S 11108 1320
S 11108 1319
0074
REEL No. A-0069
0405
アジア歴史資料センター

電信課長
大臣
次官
亞細亞

寫送先
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

（分類 A.1.1.0.25-2）

昭和7 四七六二 暗

福州 二十四日後發
本省 二月二十四日後着

芳澤外務大臣 田村總領事

第七二號ノ一 亞

重大時局ニ際シ警備艦側トノ密接聯絡方ニ關シテハ特ニ廣東宛貴電第一三號等御訓令ノ次第アリ時局以來本官宿舍ニ來泊スルヲ常トセル北上艦長草鹿大佐ニモ右ヲ内示シテ只管協力方ニ努力シ居レル處何分海軍側ニテハ動モスレハ在支公使發合第四四號電報ノ如キ氣風見ヘ特ニ同艦長ハ西湖事件ノ惹起者ニシテ次イテ間接ニハ翌日ノ水戸事件ノ誘因ヲナシ當地本官ニハ誠ニ困難ナル苦杯ヲ嘗メシメタルカ其後モ往電第五二號末段ノ通何カト中國側トノ交渉上ニモ註文多

上海ニ於ケル日支衝突事變關係一件
在留邦人保護引揚避難被害等關係

外務省

S 11108 1321

ク本官等ハ務メテ之ヲ容レ居ル次第ナルカ艦長初メ乗組員側ニモトモスレハ在留民警備其ノモノハ寧ロ第二段ニ戰鬪行爲ヲ主眼トシ機會ヲ狙フカ如キ口吻ヲ洩シ遂ニ當地在留婦女子ヲ早キニ及ンテ引揚ヲ決行セサルヲ得サリシ一因モ茲ニアリシ次第ナルカ最近上海總攻擊ニ關スル支那側逆宣傳ニ刺戟セラレ一層此ノ傾向大ナルヤニ見受ケラルル處客年九月滿洲事件勃發當時警備艦側ノ意見ヲ容レ當館門前ノ宿舍ノ一部ヲ明ケ警戒兵トシテ武裝セサル水兵約二十名ヲ每日交代ニテ上陸宿泊セシメ特ニ嚴重警戒ヲ必要トスル場合ニハ臨時增加シ來レル處先般ノ事件後居留民會ニモ一部宿泊セシムルコトトナレルカ其後右交代制度ヲ變ヘ （續ク）

外務省

S 11108 1322

REEL No. A-0069
0406
アジア歴史資料センター

大臣
次官
電信課長

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

（分類 A.1.1.0.25-2）

昭和7 四七六三 暗 福州 二月廿四日後發
本省 二月廿四日後着 亞

芳澤外務大臣 田村總領事

第七二號ノ二

陸戰隊トシテ（武器ハ包裝搬入セルモ外部ニ使用セス）大尉ヲシテ統率セシメ居レル處一兩日前突然當館ニ無斷ニテ前記宿舍ヲ引拂ヒ全部七八十名民會建物ニ引移リ外國人居住區域タル倉前山占領計畫ナルモノヲ目標ニ訓練スルノ必要上トノ事ナルカ如何ニ用兵上ノ事柄トハ云ヘ陸上ニ於テ斯ク勝手ノ行動ヲ繼續セラルルニ於テハ警備艦カ上陸セシメ得ヘキ兵員ハ精々三百名ヲ出テサルノ事實ニ鑑ミ下江ヨリ三十哩途中閩江兩岸ニ砲臺ヲモ控ユル袋路ノ如キ當地ニテノ

外務省

行動トシテハ在留民ノ保護安全ヲ期スル上ニ於テ特殊ノ考慮ヲ要スル事情アリ右ハ海軍トシテモ差當リ何等他意アルコトトハ存セサルモ其頭ノ置所ニ鮮カラス懸念セラルル節アリ當方ヨリハ御訓令ヲ体シテ聯絡ニ努ムルハ勿論ノ儀ナルモ海軍側ニ於テモ警備艦ノ陸戰隊又ハ警戒兵ノ上陸配置增減移動等苟クモ陸上警備ニ關シテハ單ニ之ヲ用兵上ノ問題トシテ單獨行動ニ出テス對支對外關係ヲモ考慮スル要アルニ付陸上ノ責任者タル領事ト事前ニ篤ト交涉スル樣海軍省側ヨリ一般的ニ訓達方御取計ヒヲ得ハ御訓令遂行上好都合ト思料ス爲念公使ヘ轉電セリ

外務省

REEL No. A-0069
0407
アジア歴史資料センター

寫送先

電信課長 大臣 次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

(分類A.1.1.0.25-2)

昭和7　四九七三　暗　上海　本省　二月廿六日後發　二月廿六日後着　亞

芳澤外務大臣　重光公使

第二九六號

福州發閣下宛電報第七二號ニ關シ
目下ノ事態ニ於テ斯ノ如キ事情ハ憂慮ニ堪ヘサルニ付當地ニ於テモ海軍首腦部ノ注意ヲ喚起スル積ナルモ當地海軍ハ直接ノ關係無キニ付本省ニ於テ至急右海軍側ト御協議ヲ煩ハシ度シ
福州ヘ轉電セリ

外務省

寫送先

電信課長 大臣 次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

(分類A.1.1.0.25-2)

昭和7　五〇五八　暗　福州　本省　二月廿七日後發　二月廿七日後着　亞

芳澤外務大臣　田村總領事

第七五號

在支公使發閣下宛電報第二九六號ニ關シ
其ノ後警備艦側ノ注意ヲ再三喚起シタル處何等カ當館構内使用ノ些々タルコトヨリ誤解シテ此ノ擧ニ出テタリトノコトナリシニ付當館ニ對スル警備ノ必要如何ノ問題ハ暫ク置キ時局最モ緊張協力ヲ必要トスル際假令如何ナル理由アリトモ突如一方的ニ陸上ノ配置移動增減ヲ單ニ一片ノ通知（事實上ハ事後ノ通知）ヲ以テ行ハルルコトハ領事ノ立場トシテ誠ニ困難ナルモノアリ殊ニ現在當地ニテハ既報居

外務省

REEL No. A-0069
0408
アジア歴史資料センター

留民會（當館ヨリ徒歩約十分ノ距離）ノ外臺灣銀行建物内ニ在ル一部在留民集合宿泊所ニ十五名ノ水兵ヲ宿泊セシメ居ルニ鑑ミ突如領事館警戒兵ノミヲ引揚クルハ假令其ノ理由カ訓練上ニアリトスルモ内外ニ對シ如何ニモ兩者ノ不一致ヲ示スコトトナリ之ノミニテモ其ノ時機ニ付最モ考慮ヲ要スル旨懇談セル結果兎モ角警戒兵員ハ夜間ノミ從前通リ當館門前ノ宿所ニ宿泊スルコトトセル趣ナリ

右ニ付艦長ニ對シテハ今後陸上警備上ノ移動ニ付テハ單ニ一片ノ通知ト言フヨリモ其ノ必要ノ有無ニ付テモ事前ニ當方ト打合方希望セル處諒承セリトハ答ヘ居リタルモ一体ニ警備各艦トモニ用兵上ノ事項（兵員數配備等）ニ付テハ領事ノ干渉ヲ許ササルコトヲ建前トセルカ如キ風從來トテモ見受ケラルル處只一般的問題トシテ海軍側ヨリ南支沿岸警備艦船ニ訓令ヲ發スル様御取計ヲ得度ク往電第七二號ハ右御參考ノ爲實例ヲ報告セルモノナルニ付該事件其ノモノニ付直接御注意セラルルコトハ却テ一層困難ナル關係ニ立至ルノ惧モアルニ付爲念御含ヲ請フ

公使へ轉電セリ

S 11108 1327

S 11108 1328

REEL No. A-0069
0409
アジア歴史資料センター

編者附言
原書ハ A.1.1.0.25-1 上海ニ於ケル日支衝突事変関係一件 排日排貨関係ニ在リ

（分類 A.1.1.0.25-2）

寫

昭和7　五一五五　暗　福州　二十八日後發

本省　二月二十八日後着

田村總領事

芳澤外務大臣

第七七號ノ一

一、其後當地ハ民國日報初メ各新聞紙カ第十九路軍ノ戰捷虚報ヲ傳フルト共ニ之等戰報ヲ壁報トシテ貼出シ二、三十名ツツノ郡衆アリ中ニハ誠シヤカニ中國側ノ戰報中ニハ屢ニ虚報モアリ日本領事ヨリ抗議ノ結果當局ハ十日間一律各新聞ノ發行ヲ停止セルカ現在ノ戰報ハ檢閲濟ニテ領事モ之ヲ認メ居レルモノナリ等說キ立ツルモノアリ偶々通リカカリノ邦人ニ惡口ヲ爲シ又ハ當館電話等ニテ斷ヘス惡口スル外今ノ處何等事故發生セス在留內外人共言動ヲ愼ミ多少之等ノ侮

記録件名 在留邦人保護引揚避難及被害関係

は（ト）

日的空氣ニ對シテモ冷靜隱忍自重方注意シ生活困難者救濟方折角考慮中ナリ

一、省政府ハ治安維持ニ付相等苦心シ居リ過般本官申入ニ依リ黨部其他ノ各學校生徒ニ對スル時局講演ヲ差止メ又我水兵ノ宿泊セル居留民會隣接映畫館ニ支那軍駐屯セルヲ我方注意ニヨリテ他ニ移シ軍隊移動ニ就キテモ其ノ都度其ノ移動先及理由ヲ說明スル等（續ク）

は（ト）

REEL No. A-0069

0410

アジア歴史資料センター

昭和7　五一五六　暗

福州　廿八日後發
本省　二月廿八日後着

芳澤外務大臣　　田村總領事

第七七號ノ二

大體滿足ス可キモノアル處最近廣東、汕頭、厦門ノ事態ニ鑑ミ更ニ豫防方嚴重申入レ置キタリ

一、反日運動ハ其後市上ノ「ポスター」新聞紙ノ宣傳標語等ハ勿論遊行大會等ナク又少クモ表面何等工作ヲ見受ケス久振ニテ兎モ角臺灣向木材積出ヲ見タル程ナルモ舊正後ノ商況不振ト時局ノ爲日支人間ノ取引ハ依絶杜絶状態ニアリ

一、上海方面ヨリ弗々避難引揚來レルモノ千餘名ニ達シ其ノ状況談等ニ依リ市民一般ニ當地カ本年初西湖事件、水戸事件、不敬記事事件ト連續勃發シ日支關係緊張セル際本官ノ冷靜迅速ナル解決ニ依リ軍隊ニ依ル衝突ヲ免レタリトテ喜ヒ居ル旨英米領事モ屢々之ヲ省政府當局及支那官民ヨリ聞クニ付強チ一片ノ御世辭ノミニ非サル可シトテ米領事ハ當時我方ノ「強硬ニシテ安協的態度」ノ爲事件ヲ即決シ目下平穩ナリト本國ニ報告セリトテ之ヲ内示シ居タルカ舊臘以來米國驅逐艦一隻停泊シ居レリ以上御參考迄

支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

厦門、汕頭、廣東ニ轉電セリ

外務省

は(ト)

REEL No. A-0069
0411
アジア歴史資料センター

寫送先 大臣 次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計 電信課長

(分類 A1.1.0.25-2)

昭和7 六八七六 暗 福州 三月十七日後發
本省 三月十七日後着 亞二

芳澤外務大臣 田村總領事

第九一號

貴電第二四號ニ關シ

(一)營業者成年男六五同女五五小供五〇、職業成年男三〇同女二四小供一三

尚(二)ニ付テハ臺灣出張中ノ田村總領事ヨリ直接返電濟ミ

外務省

S 11108 1333 0087

寫送先 大臣 次官 亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計 電信課長

(分類 A1.1.0.25-2)

昭和7 七四九一 略 福州 三月廿四日後發
本省 三月廿四日後着 亞

芳澤外務大臣 田村總領事

第九三號

往電第八五號末段ニ關シ廿二日ニ中山巡査三名廿三日ニ本官岡部村越ノ各家族ハ在留民婦女子ト共ニ歸來セリ

外務省

S 11108 1334 0088

REEL No. A-0069
0412
アジア歴史資料センター

人事課

公第五〇號

昭和七年三月二十八日

在福州
總領事 田村貞治

外務大臣 芳澤謙吉殿

警察官家族等呼寄願進達ノ件

曩ニ二月十五日附公第二三號拙信ヲ以テ巡査部長田口忠造外六名ノ家族時局ニ伴フ避難ノ爲一時本籍地ニ歸朝許可方稟請セルトコロ其ノ後上海方面ノ事態一段落ト共ニ當地ノ狀勢モ漸次鎭靜ニ赴キツツアリ一時臺灣ニ避難中ノ館員家族モ在留民婦女子ト共ニ歸來セル

昭和七年四月拾四日接受
別紙添附

在福州日本總領事館

ニ付テハ別紙ノ通リ伊藤巡査部長外~~五~~四名ノ家族呼寄願出アリ茲許進達ス可然御取計相成度シ

追テ御許可ノ上ハ左記鄕里ヘ夫々御通知相成度

左記

熊本縣玉名郡春富村大字中和仁一〇三
伊藤壽藏方
〇伊藤ヒデ

~~東京府下武藏野境町四四一番地~~
~~加藤力太郎方~~
~~加藤ミツ~~

佐賀縣唐津市松浦町三丁目
森治嘉一郎方
〇濱田カズ

在福州日本總領事館

REEL No. A-0069
0413
アジア歴史資料センター

茨城縣新治郡玉川村大字下玉里二二七五
福田桂一方

〇福田ツキ

山口縣都濃郡徳山町西船町
安達新作方

橋本公子

岡山縣眞庭郡新庄村一九〇三
岩佐以登方

岩佐友代

在福州日本總領事館

S 11108 1337 0091

REEL No. A-0069

0414

アジア歴史資料センター

家族呼寄許可願

小職儀

時局ノ為メ在留婦女子引揚ケ勧告ノ際許可ヲ得テ一時家族ヲ郷里ヘ帰省セシメ置キ候處既ニ上海方面ニ於ケル軍事行動ノ一段落ト共ニ当地ノ状況モ平穏トナリ危険状態ヲ脱シ候ニ就テハ郷里滞在中ナル左記家族ヲ任地福州ヘ呼寄セ度何卒特別ノ御詮議ヲ以テ御許可相成度此段奉願上候也

昭和七年三月二十五日

在福州日本総領事館警察署勤務

外務省巡査部長 伊藤茂 (伊藤)

外務大臣芳澤謙吉殿

記

滞在地、本籍 熊本県玉名郡春富村大字中和仁百〇三番地 伊藤清藏方

伊藤茂妻 伊藤ヒデ

以上

S 11108 1338

S 11108 1339

0092

REEL No. A-0069

0415

アジア歴史資料センター

家族呼寄許可願

小職儀
時局ノ度々在留婦女子引揚勧告ノ際
許可ヲ得テ一時家族ヲ郷里ヘ歸省セシメ
置候處既ニ上海方面ニ於ケル軍事行動ノ
一段落ト共ニ當地ノ状況モ平穏トナリ危険
状態ヲ脱シ候ニ就テハ郷里滞在中ナル
右記家族ヲ任地福州ヘ呼寄度候何卒
特別ノ御詮議ヲ以テ御許可相成度
此段及御願候也

昭和七年三月二十五日

在福州總領事館警察署勤務
外務省巡査 濱田武一郎（濱田）

外務大臣芳澤謙吉殿

記

滞在地 佐賀県唐津市松浦町
三丁目森治嘉一郎方
濱田武一郎妻 濱田カズ
長女 仝 幸子 當二年

以上

S 11108 1341
S 11108 1340
0093
REEL No. A-0069
0416
アジア歴史資料センター

家族呼寄許可願

小職儀

時局ノ為メ在留婦女子引揚ケ勧告ノ際許可ヲ得テ一時家族ヲ郷里ヘ帰省セシメ置キ候處既ニ上海方面ニ於ケル軍事行動ノ一段落ト共ニ当地ノ状況モ平穏トナリ危険状態ヲ脱シ候ニ就テハ左記郷里滞在中ナル家族ヲ任地福州ヘ呼寄度何卒特別ノ御詮議ヲ以テ御許可相成度此段奉願候也

昭和七年三月二十五日

在福州日本總領事館警察署勤務

外務省巡査　福田秀雄（福田）

左記

滞在地　茨城縣新治郡玉川村大字下玉里

二三七五　福田桂一方

妻　福田ツキ

長男　仝　正

長女　仝　翠

外務大臣　芳沢謙吉殿

S 11108 1343

S 11108 1342

0094

REEL No. A-0069

0417

アジア歴史資料センター

家族呼寄願

妻 公子儀

支那時局不穏ノタメ婦女子引揚ゲノ勧告ヲ受ケ長男
淳、次男赳同伴許可ヲ得テ帰朝中ノ処上海ニ於
ケル軍事行動モ一段落ヲ告ゲ當福州モ常態ニ復シ
候間家族呼寄方御許可相成度
右奉願候也

昭和七年三月二十五日

在福州日本總領事館
外務省囑託 橋本喜久一 (印)

外務大臣芳澤謙吉殿

左記

滞在地、山口縣都濃郡徳山町西舩丁
安達新作方
橋本公子
長男 淳
次男 赳

11108 1345
11108 1344
0095

REEL No. A-0069
0418
アジア歴史資料センター

家族呼寄許可願

私儀

時局ノ為メ在留婦女子ノ一時避難勧告ニ基キ家族ヲ郷里ヘ帰省セシメ置キ候處既ニ上海方面ニ於ケル軍事行動ノ一段落ト共ニ當地ノ状況モ平穏トナリ危険状態ヲ脱シ候ニ就テハ左記郷里滞在中ナル家族ヲ任地ヘ呼寄度何卒特別ノ御詮議ヲ以テ御許可相成度

此段奉願候也

左記

滞在地 岡山縣眞庭郡新庄村一九〇二番地

岩佐以登方

岩佐友代

長女 敏子

昭和七年三月二十七日

在福州日本総領事館勤務

外務省嘱託 岩佐数夫

外務大臣芳澤謙吉殿

0096

S 11108 1346

S 11108 1347

REEL No. A-0069

0419

アジア歴史資料センター

(分類 1.1.10.25-2)

次官

會計課長

検査掛

懸案

文書課發送 昭和七年四月拾九日 發送済

主管 人事課長

主任

起草 昭和七年四月十五日

淨書 正校(原稿) 井上 (浄書)

受信人名 在福州 田村総領事 宛

乙 普通 第一號 昭和七年四月拾八日

發信人名 芳澤外務大臣

附属書 通

件名 館員家族呼寄許可ノ件

指令案

昭和七年三月二十八日附公第五〇號

在福州総領事田村貞治郎稟請

橋本、長沢両嘱託及伊藤、猪田、福田各警察官任所ヘ家族呼寄ノ件許可ス

追テ任所着ノ上ハ其月日速ニ報告スヘシ

公信案

外務省

REEL No. A-0069
0420
アジア歴史資料センター

文書課長　公信案　（甲號用紙）

文書課發送　昭和七年四月拾九日　發送済

浄書　正校（原稿）　校正（浄書）

主管　人事課長

主任

（起草　昭和七年四月十五日）

（人）機密 常通　第　半公信號　昭和七年四月拾八日附

受信人名　山口縣都濃郡徳山町西船丁　安達新作方　橋本公子　宛

發信人名　人事課

附屬書　一通

件名　妻子呼寄許可ノ件

拝啓在福州田村総領事稟請ノ橋本啄託ヨリ貴殿子供二名同伴任所ヘ呼寄方ノ件ハ四月十八日附ヲ以テ許可相成候條及御通知候尚出發ノ期日御確定ノ上ハ別

外務省

制紙

記 18 64

S 11108 1350　0099

以下旅券ヲ携帯ノ上赴クヘキ者ヘ通知ノ場合ニ附記ス

添出發届御差出相成度又御渡航ニ付テハ旅券携帯ノ必要有之候ニ付別紙旅券請求書ヘ夫々記入小形寫眞参葉添付御回付相成度此段申進候敬具

追テ出發届提出ノ上ハ約十日間ニシテ會計課ニ於テ旅費支出金ノ手續ヲ了スヘキニ付其御含置ヲ以テ同課ヘ御出頭相成度此段申添候

（出發届、旅券請求書添付ノコト）

外務省

（乙號用紙）

S 11108 1351　0100

REEL No. A-0069

0421

アジア歴史資料センター

縣案

文書課長（印）

公信案

文書課發送 昭和七年四月拾九日發送濟

主管 人事課長（印）

主任（印）

（起草 昭和七年七月五日）

淨書（印）

校正（原稿）（印）（淨書）（印）

別紙

（甲號用紙）

（人）機密 普通 第半 公信號

昭和 年 月 日附

昭和七年四月拾八日

附屬書 一通

受信人名 岡山縣眞庭郡新庄村一九〇三 岩佐以登方 岩佐文代 宛

發信人名 人事課

件名 妻（子）呼寄許可ノ件

綴込名

拜啓在福州田村總領事稟請ノ岩佐嘯詮ヨリ貴殿、子供一名同件任所ヘ呼寄方ノ件ハ四月十八日附ヲ以テ許可相成候條及御通知候尚出發ノ期日御確定ノ上ハ別

公信案

外務省

以下旅券ヲ携帯ノ上赴クヘキ者ヘ通知ノ場合ニ附記スノ

添出發屆御差出相成度又御渡航ニ付テハ旅券携帶ノ必要有之候ニ付別紙旅券請求書ヘ夫々記入小形寫眞參葉添付御回付相成度此段申進候敬具

追テ出發屆提出ノ上ハ約十日間ニシテ會計課ニ於テ旅費送金支出ノ手續ヲ了スヘキニ付其御含置以テ同課ヘ御出頭相成度此段申添候

（出發屆、旅券請求書添付ノコト）

外務省

（乙號用紙）罫納

REEL No. A-0069
0422
アジア歴史資料センター

亜細亜局

昭和七年九月六日接受

公第三〇三號

昭和七年八月十八日

在福州
総領事 守屋和

外務大臣伯爵 内田康哉殿

在留邦人復歸狀況ニ關シ報告ノ件

客年滿洲事變勃發以來當地在留邦人婦女子中避難歸國スルモノ三十餘名ニ達シ本年一月末ニハ殘留者內地人三百名台灣藉民一千百七十一名計一千四百七十一名トナリシカ上海事變發生ニ依リ二月二日及三日ニ亘リテ一時婦女子ノ引揚ヲ命シタル結果內地人百八十名、台灣藉民三百五十八名計五百三十八名ノ避難者アリ（大部分台灣ヘ）結局內台人合シ殘留者九百三十三名ニ減セル處其後事態ノ緩和ニ件ヒ三月二十日ノ入港船ヲ皮切リニ歸還者相次キ本日迄ニ內地人百五十七名、台灣藉民三百名計四百五十七名ノ復歸ヲ見タリ

右報告申進ス

本信寫送付先、在華公使、北平、上海、南京、廣東、厦門、汕頭

台灣總督、

S 11108 1354 0103

在福州日本總領事館

S 11108 1355 0104

REEL No. A-0069

0423

アジア歴史資料センター

寫送先

電信課長　大臣　次官　亜細亜　歐米　通商　條約　情報　文化　人事　文書　會計

(分類 A.1.1.1.21-1.)

昭和7　二四八七七　略　福州　本省　十一月十二日後發　十一月十二日後着　亜

内田外務大臣　守屋總領事

第三一四號

往電第二二四號ニ關シ

北上ハ十月八日來航警備ノ任ニ當リ居リシカ時局モ小康狀態トナレルニ依リ十一月九日馬公ニ歸還セリ

支、北平、奉天、南京、廣東、汕頭、厦門ヘ轉電セリ

外務省

寫送先

電信課長　大臣　次官　亜細亜　歐米　通商　條約　情報　文化　人事　文書　會計

(A.1.1.0.21-1)

昭和8　四三二六　暗　福州　本省　二月廿四日後發　二月廿四日後着　亜

内田外務大臣　守屋總領事

第六一號

往電第六〇號ニ關シ

當地ハ引續キ平穩ニシテ不穩ノ模樣無シ尤モ新聞ノ論調ハ不相變激越ナリ

冒頭往電ノ通リ轉電セリ

支ヨリ上海ヘ轉報アリ度シ

外務省

REEL No. A-0069

0424

アジア歴史資料センター

大臣
次官
電信課長
亜細亜
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

A-1.1.1.21-1

昭和8　四六三一　暗　福州　本省　二月廿七日後發　二月廿七日後着　亜

内田外務大臣　守屋總領事

第六四號

軍艦五十鈴ハ既報ノ如ク廿一日到着セルモ時局平穏ナル次第モ有リ兵員ノ上陸ヲ差控フルト共ニ馬尾ニ於テ偶々同地ニ在リタル米國軍艦「アッシェベリー」及支那軍艦ト交驩スル等何等時局ニ關心ヲ有セサルカ如ク行動シ愼重ナル態度ヲ持シツツアリ尤モ艦長及聯絡將校ハ上陸ノ上本官ト打合セヲ爲シ又絶エス本官ト聯絡シ居レリ同艦ハ多分三月七日頃迄當地ニ滯在ノ事トナル可シ支那新聞中ニハ同艦來航ニ付嫌味ヲ述ヘタルモノ有リシモ歯牙ニ懸クル程ノモノニ非ス

二、昨年五月以來當地ニ在リタル參謀本部附石野歩兵小佐ハ三月一日出發引揚ノ事トナレリ後任ハ來ラサルヤニ同少佐ハ話シ居ルモ本官トシテハ聯絡上後任ノ來駐ヲ切望スルモノナル次第有リ參謀本部ニ事實御確メノ上御回報ヲ得度シ

支、北平、南京、廣東、厦門ニ轉電セリ

外務省

REEL No. A-0069
0425
アジア歴史資料センター

電信課長 極秘

大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

昭和8 四九三六 暗

本省 福州 三月二日後發
本省 三月二日後着 亞

内田外務大臣 守屋總領事

第六七號（極秘）

官發支宛電報

合第一號

大臣宛貴電第一〇四號及大臣發貴公使宛電報第二六號ニ關シ

一、當地ト厦門トハ極メテ類似シタル事情ニアリ從テ厦門發貴公使宛電報第二號稟申ノ點ハ其儘當地ニモ當嵌マルモノト御承知アリ度尤モ管内福淸縣下ニハ日本人ノ戶籍ノ儘支那人ノ妻子ト爲リ居ル者約九十名有ル處此等ハ引揚等ノ場合ニ考慮ヲ加フル要無キヤ尚同電報第三號ノ事項ニ付テハ本官トシテハ昨年雲南ノ例ニ倣ヒ又本總領事館カ佛國領事館ト最モ近接シ居ルコトヲ考慮シ佛國領事ニ依賴スルヲ可ト考ヘ居ル次第ナリ

二、居留民ハ多少ノ不安ヲ抱キツツモ市内ハ平穩ナル爲安堵シテ業ヲ營ミツツアリ多數ノ居留民ハ昨年ノ引揚ノ混雜ニ懲リ能フ限リ引揚ヲ避ケ度キ意嚮ノ様見受ケラルルモ軍艦五十鈴側ニ於テハ碇泊地タル馬尾ト福州トカ數浬ノ水路ヲ距テ居リ其間ノ交通ハ小蒸汽又ハ戎克ニ依ルヨリ致方無キ次第有リ普通ノ意味ノ現地保護ハ不可能ナレハ時局惡化ノ際ハ早目ニ引揚又ハ軍艦ニ收容ノ方法ヲ講スルノ要アリトノ意見ニ傾キ居レリ本件ニ付テハ追テ具體案ヲ確定シ得ル見込ナルモ御參考迄

外務省

REEL No. A-0069
0426
アジア歴史資料センター

大臣、北平、南京、廣東、汕頭、廈門へ轉電セリ

S 11108 1362 0111

REEL No. A-0069

0427

アジア歴史資料センター